

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「インベスコ 世界株式オープン」は、この
たび、第23期の決算を行いました。

当ファンドは世界各国（日本、新興国を含みます。）
の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な投資
信託財産の成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報
告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上
げます。

第23期末(2018年11月30日)	
基準価額	12,310円
純資産総額	2,210百万円
第23期	
騰落率	3.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。



インベスコ 世界株式オープン

愛称: G★プレイヤー

追加型投信/内外/株式

G★Player



交付運用報告書

第23期

(決算日 2018年11月30日)

作成対象期間 (2018年5月31日～2018年11月30日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル: (03)6447-3100
(受付時間: 毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

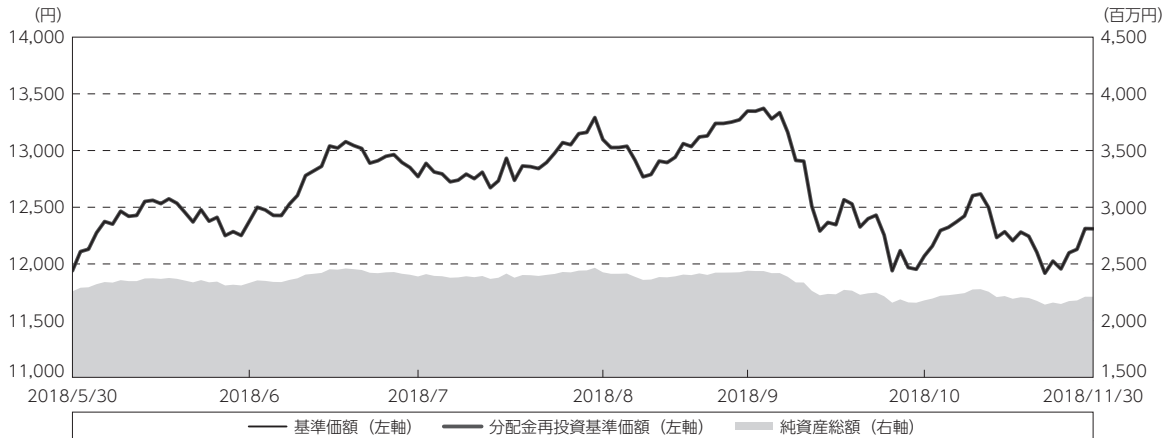


見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年5月31日～2018年11月30日)



期首：11,940円

期末：12,310円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 3.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年5月30日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当てて銘柄を選別した結果、AUTOZONE(米国/小売)、EXPRESS SCRIPTS HOLDING(米国/ヘルスケア機器・サービス)、MICROSOFT(米国/ソフトウェア・サービス)などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、米ドルやユーロなど、投資対象資産の通貨がおおむね対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・世界各国(日本、新興国を含みます。)の株式を実質的な主要投資対象としているため、米国を除く世界の株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・個別銘柄において、CIELO(ブラジル/ソフトウェア・サービス)、SCHLUMBERGER(米国/エネルギー)、BRITISH AMERICAN TOBACCO(英国/食品・飲料・タバコ)などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2018年5月31日～2018年11月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 108	% 0.855	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(52)	(0.408)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(52)	(0.408)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.038)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.018	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(2)	(0.018)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	7	0.057	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.019)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(1)	(0.005)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	117	0.930	
期中の平均基準価額は、12,628円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

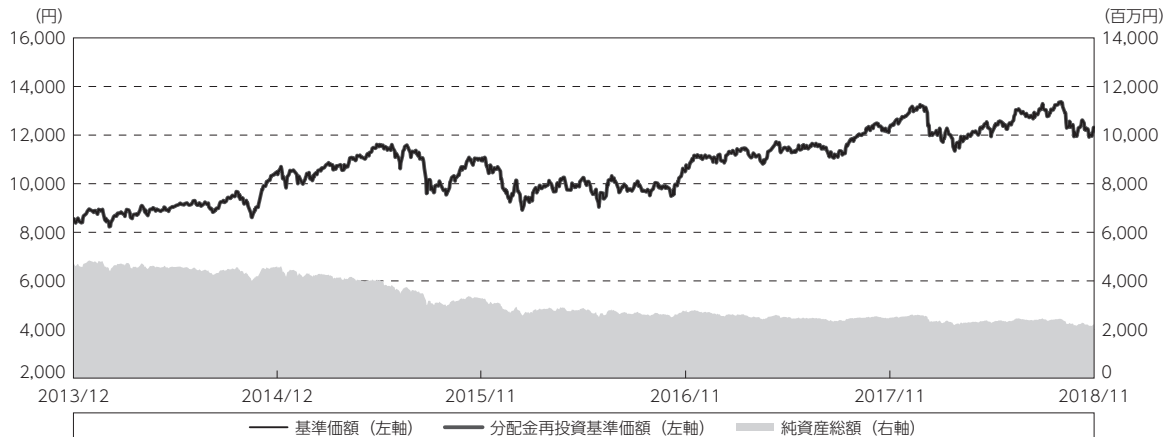
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年12月2日～2018年11月30日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2013年12月2日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年12月2日 決算日	2014年12月1日 決算日	2015年11月30日 決算日	2016年11月30日 決算日	2017年11月30日 決算日	2018年11月30日 決算日
基準価額 (円)	8,530	10,485	10,983	10,538	12,314	12,310
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	22.9	4.7	△ 4.1	16.9	△ 0.0
純資産総額 (百万円)	4,704	4,592	3,282	2,750	2,472	2,210

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて企業の国籍や業種にとらわれることなく、グローバルな視点から成長の見込まれる企業に投資を行っています。そのため、当ファンドと比較するベンチマークおよび参考指数を設けていません。

投資環境

(2018年5月31日~2018年11月30日)

TOPIX (東証株価指数) (日本)	△4.0%	S & P 500 指数 (米国)	+1.3%
FTSE 100 指数 (英国)	△9.2%	DAX 指数 (ドイツ)	△11.9%
CAC 40 指数 (フランス)	△7.8%		
米ドル/円	113円47銭 (前期末108円41銭)	ユーロ/円	129円19銭 (同125円05銭)

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

当期の世界の株式市場は、米国を除き、おおむね下落しました。米国株式市場は、2018年10月以降、米国金利の上昇や米中貿易摩擦の激化に対する懸念などから軟調に推移する局面もあったものの、①雇用統計を中心に米国経済の基礎的條件（ファンダメンタルズ）が比較的堅調さを保ったこと、②良好な企業決算一などに支えられ、株価は前期末比で上昇しました。一方、①イタリアやドイツの政局不安が嫌気されたこと、②米中貿易戦争の激化に対する懸念、③2018年8月のトルコリラの急落一などから大陸欧州や新興国株式市場に対する投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価が下落しました。

為替市場では、米ドルは対円で上昇しました。米国の堅調な景気を背景に主要国との間の金融政策の格差は当面続くとの見通しから、米ドルは円をはじめとする主要通貨に対して堅調な推移となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年5月31日～2018年11月30日)

主として、インベスコ 世界株式 マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

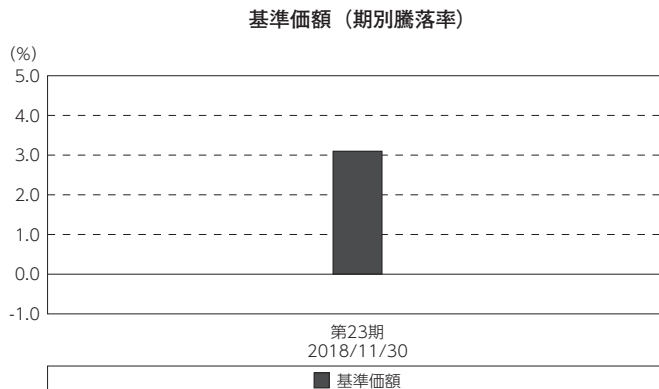
マザーファンドでは、企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て銘柄を選別し、ポートフォリオを構築しました。株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。期中、株価上昇余地があり、競争優位性が高く質の高い経営を行っている判断した企業を中心に購入した一方、株価が適正水準に到達したと判断した銘柄や、既存の保有銘柄よりもさらに魅力的な投資機会を発掘した際は、保有銘柄の一部もしくは全売却を行いました。具体的には、さまざまな要因から売り上げの伸びが低迷していたMONDELEZ INTERNATIONAL（米国／食品・飲料・タバコ）を、新しい経営陣による事業ポートフォリオの見直しなどにより、今後収益の安定的な成長が期待できると考え、新規に組み入れました。その他、自動車生産のOEM化が進む中、電気自動車の部品などの高価格製品メーカーであるDELPHI TECHNOLOGIES（米国／自動車・自動車部品）を新規に組み入れました。一方で、株価上昇により、当運用チームの考える本質的な価値に達したと判断したEXPRESS SCRIPTS HOLDING（米国／ヘルスケア機器・サービス）、ADVANCE AUTO PARTS（米国／小売）、SAMSUNG ELECTRONICS-PREF（韓国／テクノロジー・ハードウェアおよび機器）などの全売却を実施しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年5月31日～2018年11月30日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2018年5月31日～2018年11月30日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第23期
	2018年5月31日 ～2018年11月30日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,705

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主としてマザーファンドへの投資を通じて、世界各国(日本、新興国を含みます。)の株式に投資を行います。また、実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て、銘柄を選別し、ポートフォリオを構築します。2018年は、米国が世界の株式市場をけん引し、景気が堅調に拡大を続ける中、米国の金融政策は正常化に向けて進んでいます。急速な利上げペースに対する懸念もありますが、2018年11月に入り、米連邦準備理事会(FRB)の高官から利上げに対する慎重な発言が聞かれ、景気の腰折れを回避しようとする配慮も見られます。世界経済は、比較的安定した成長を続けているものの、欧州や新興国の政治リスクや貿易摩擦の行方が要因となり、株式市場の変動率が一時的に高くなる傾向があり、当運用チームは、これが今後も続く想定しています。

このような投資環境の見通しの下、ポートフォリオの運営では、従来の投資哲学にのっとり、企業のファンダメンタルズに注目し、割安な水準で取引されている「質の高い企業」に投資することを継続していきます。「質の高い企業」とは、①持続性のある競争優位性、②良好な成長見通し、③財務の健全性、④実行力のある経営陣を有している—といった特徴を備えた企業を指し、このような企業は、市場シェアを引き上げながら資本効率を上げることが可能であると考えています。このような銘柄を発掘するために、ファンダメンタルズ・リサーチを引き続き重視し、企業の国籍や業種にとらわれることなく、グローバルな視点から持続的な成長が見込まれる企業に投資を行う方針です。

お知らせ

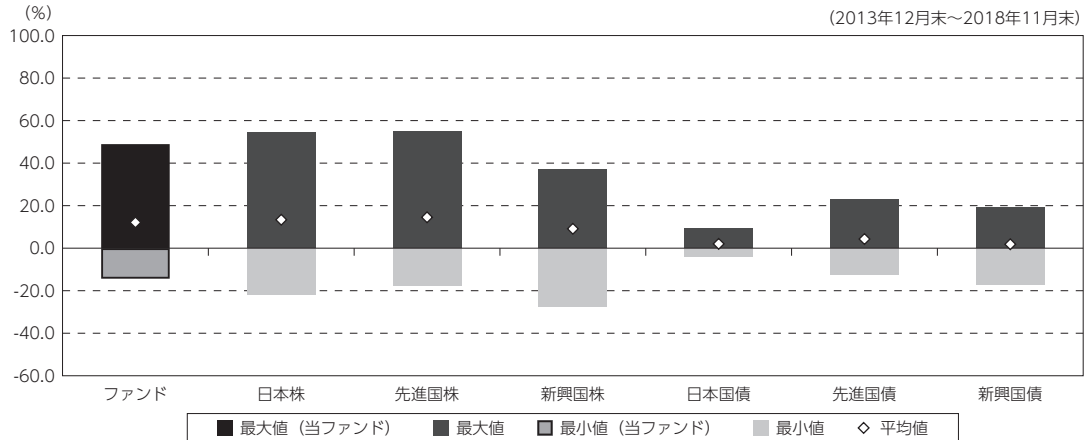
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年5月30日まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「インベスコ 世界株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、中長期的な投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。 ・実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行いません。 	
主要投資対象	インベスコ 世界株式 オープン	「インベスコ 世界株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界株式 マザーファンド	世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国（日本、新興国を含みます。）の株式に分散投資を行います。 ・企業の調査・分析にあたっては、企業の本質的な価値を判断し、その中から株価が割安であると考えられる企業に焦点を当て、銘柄を選別し、ポートフォリオを構築します。 	
分配方針	<p>原則として年2回の毎決算時（5・11月の各30日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。</p> <p>ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。</p>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	12.1	13.4	14.5	9.1	2.0	4.3	1.8
最大値	48.9	54.4	54.8	37.2	9.3	22.7	19.3
最小値	-14.3	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年12月から2018年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年11月30日現在)

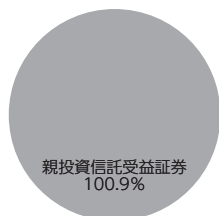
○組入上位ファンド

銘柄名	第23期末
インベスコ 世界株式 マザーファンド	100.9%
組入銘柄数	1銘柄

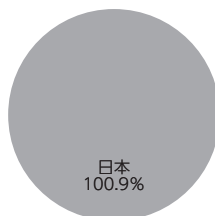
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

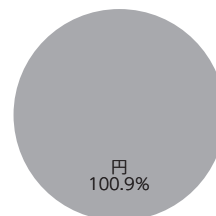
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

純資産等

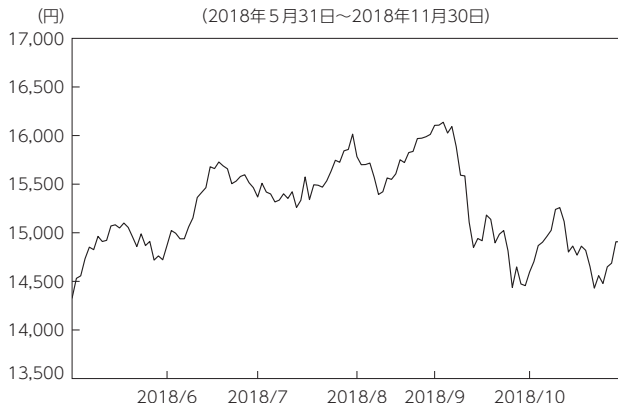
項目	第23期末
	2018年11月30日
純資産総額	2,210,614,334円
受益権総口数	1,795,788,723口
1万口当たり基準価額	12,310円

* 期中における追加設定元本額は517,122円、同解約元本額は96,044,849円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 世界株式 マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年5月31日～2018年11月30日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投資信託証券)	3 (3) (0)	0.018 (0.018) (0.000)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (1)	0.029 (0.024) (0.005)
合計	7	0.047

期中の平均基準価額は、15,209円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年11月30日現在)

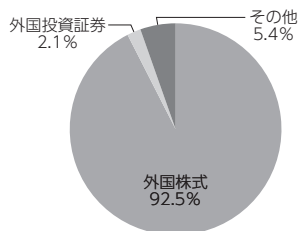
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
				%
1 NIELSEN HOLDINGS	商業・専門サービス	米ドル	アメリカ	5.7
2 MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	5.6
3 VISA-A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	5.1
4 AUTOZONE	小売	米ドル	アメリカ	5.0
5 WELLS FARGO	銀行	米ドル	アメリカ	4.2
6 BECTON DICKINSON	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.8
7 FLOWSERVE	資本財	米ドル	アメリカ	3.7
8 EXPERIAN	商業・専門サービス	英ポンド	イギリス	3.6
9 SAP	ソフトウェア・サービス	ユーロ	ドイツ	3.4
10 BUREAU VERITAS	商業・専門サービス	ユーロ	フランス	3.2
組入銘柄数			34銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

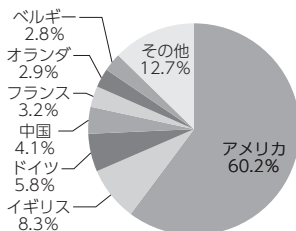
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

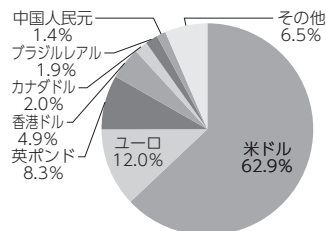
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。